

ウポポイへの来場促進に向けた連絡会議（第3回）議事概要

日 時：令和5年5月30日（火） 11:00～11:50

場 所：中央合同庁舎2号館1階 共用会議室5（WEB会議併用）

出席者：内閣官房アイヌ総合政策室 吉井室長、田村次長

国土交通省 橋本北海道局長、増田北海道局総務課長

文化庁 杉浦次長、寺本企画調整課長

北海道庁 小玉北海道副知事、相田北海道環境生活部アイヌ政策監
（公財）アイヌ民族文化財団 常本理事長、對馬副理事長

1. 資料説明

- （1）G7環境大臣会合におけるアイヌ文化発信の報告（国土交通省、北海道庁）
- （2）ウポポイへの来場促進に向けた検討について（国土交通省、文化庁、北海道庁）

2. 意見交換

出席者からの主な意見は以下のとおり。

- 観光需要が回復する中、道民の旅行先が道外に向くことは理解できるものの、来場者数を伸ばすために施策を講じていく必要がある。また、道外からの来道客を一層取り込むことも必要。
- 入場者数の危機感は共有しており、関係者で知恵を出し合いたい。
- 道内、道外、インバウンド向けのPR活動をそれぞれ実施していく必要。アイヌ文化を正しく伝えつつ、リピーターにも楽しんでもらえるコンテンツ作りに地道に取り組んでいきたい。
- 冬期間の来場者確保に向け、ウポポイでしか体験できないコンテンツが必要と考える。また、ウポポイは、アイヌ文化の復興・伝承の拠点でもあることから、冬期間の活用は二重の意味で重要。

以 上